



## 富樫 宏明 先生

長崎大学歯学部卒 歯学博士  
医療法人祐歯会 理事長  
とがし歯科医院 院長

### 講演タイトル

## 『歯科DXの新展開』～デジタルテクノロジーが切り拓く、歯科医療の明るい未来～

デジタルテクノロジーで生産性の向上を図ることは、歯科界のみならずあらゆる業界での課題となっています。歯科でもこの20年は、歯科用CTやCAD/CAMの普及など、絶え間のない変革期でありました。その中でも現在、最も注目されている歯科のデジタル化は、口腔内スキャナーやCAD/CAMによる補綴物製作についてでしょう。

現時点で、ほとんどの補綴物製作・技工工程をデジタル支援で行うことができるようになってきました。本日の講演ではたくさんの方のデジタル機器についてお話するわけですが、これらを導入しただけでは恩恵は多くはありません。デジタル化による生産性向上を活かした仕組み作りまで行って初めて、デジタル化の意義は最大化されます。これが最近巷でよく耳にするデジタルトランスフォーメーション(DX)です。当院では特にこの3年間、かなり極端なDXを行なってきました。その成果は絶大で、経済性も含め、スタッフも私自身も生活が一変しました。その要諦をお話します。さらに、各領域における診断・治療や、ほぼ全ての技工・補綴物製作の工程をDXした当院では、次の課題としてメタバースに取り組んでいます。VRを用いて、CTの画像診断に使い、CADデータで遠隔地にいる技工士と補綴設計のミーティングをしたり…その用途は広がる一方で、歯科医療のデジタル化が可能にした世界です。これらを紹介し、歯科デジタルトランスフォーメーションの可能性の一つとして提言します。

### ◆所属学会・認定医

・ICOI国際インプラント学会 指導医 ・日本骨代謝学会 ・日本顎咬合学会 ・日本環境感染学会



## 崎田 竜仁 先生

### 講演タイトル

## CIB補綴の説明とマテリアル

近年歯科治療のデジタル化は急速に進んでいます。

特にインプラント治療を含む補綴歯科治療では、診断に始まり、口腔内スキャナーを用いた印象採得や咬合採得、そしてCAD/CAMによる模型や補綴装置の製作など、多くのステップでデジタル技術を用いています。

その中で、デジタル技術の限界やアナログ作業を組み込む必要性と必要箇所、そしてマテリアルを紹介したいと思います。

### ◆経歴

鹿児島歯科学院歯科技工士科を卒業後、国際デンタルアカデミーにて研修活動を修了。1997年にアートデンタルラボを開業する。その後、2009年に鹿児島県薩摩川内市で鹿児島島ミリングセンターを、2018年に東京都品川区で株式会社CARESソリューションセンターを開業。歯科技工物制作および歯科用医療機器の販売や歯科材料・デジタルソリューションの開発に従事する。



## 森本太一朗 先生

### ◆経歴

2004年 九州大学歯学部歯学科卒業 (DDS取得)  
2004年 ロマリンダ大学歯学部インプラント科  
(インターン、レジデント)  
2009年 森本歯科医院 勤務  
2010年 ロマリンダ大学歯学部インプラント科 修士課程修了 (MSD取得)  
2015年 森本歯科 院長  
2016年 九州大学大学院歯学府歯学専攻博士課程終了 (PhD取得)  
2023年 森本歯科 理事長

### 講演タイトル

## インプラント審美治療に対して技工士と連携しデジタル技術を用いた取り組み

デジタル技術を用いることで、治療後の周囲組織を予測して最終補綴形態を即時に提供することができるようになり、これまで複雑であった抜歯即時インプラント埋入時の対応がシンプルになった。また、最終補綴製作時にも口腔内スキャナーのデータをうまく活用することで、技工士に的確に情報を伝えることができるようになり、長期的に審美的な結果と患者の満足度をもたらすことができるようになった。



## 松成 淳一 先生

日本口腔インプラント学会専門医  
東京医科歯科大学非常勤講師  
ICOI Diplomat  
JAID会員

### 講演タイトル

## すべての症例にX-Guideを。JAIDメンバーの症例から

2020年X-Guideシステムが発売され、全国のJAIDメンバーはいち早く導入してきた。それぞれのインプラントメーカー、コンセプトによってさまざまな症例に活用している様子を、JAIDを代表して解説したい。また、JAIDが日本に紹介したゼロボーンロスコンセプトについても、X-Guideのプランニングと合わせて説明したい。



## 安岡 大志 先生

ICOI (国際インプラント学会) 指導医・理事。日本臨床歯科医学会大阪支部(大阪SJC)所属、公益社団法人日本口腔インプラント学会、特定非営利活動法人臨床器材研究所、AAID (アメリカインプラント学会) 認定医(Associate Fellow)、IACD (International Academy of Contemporary Dentistry)指導医、ニューヨーク大学CEコースオペディレクター、日本歯科医師会会員、日本デジタル歯科学会会員、日本臨床歯周病学会会員、OJ(Osseointegration Study Club of Japan)正会員、ENの会、5-D Japan会員、JAID理事ほか、さまざまな団体に所属。一般財団法人 日本プロスピカー協会 ベーシックプロスピカー

### 講演タイトル

## XRを用いた当院が行っている院内教育の現在

現在、若手の教育に時間を費やし、ある程度時間をかけて育てても活躍できるようになれば開業というプロセスが多いように感じます。時短でどのように育成していくのがキーポイントになります。当院の方法を今回お見せできればと考えております。